ピース・サンデー　２０２４年９月２２日

**テーマ**

金継ぎ：　壊れた器は往々にして元より美しい

**このテーマが選ばれた理由**

コリントの信徒への手紙二４章７節は、福音を「土のつぼ」に入った「宝物」と表現している。この質素な器は、割れた破片から陶器を作る（または再現する）日本の伝統である「金継ぎ」を思い起こさせる。破損した器は、しばしば金縛りにあいながら、再び有用なオブジェを作り上げるために再び組み合わされる。ハガイ書２章９節にあるように、新しい作品は過去についての物語を語り、以前よりも大きな栄光を吹き込む。

聖書のテキスト

コリントの信徒への手紙二4:7

ハガイ2:9

**地域社会として、このような芸術を試してみよう。**

近所を回ってゴミを集め、掃除する。

割れた器（食器や花瓶など）を見つけ、再利用できそうな割れ物はきれいにする。元通りにするのではなく、新しく美しいものを作る（または作り直す）ために、みんなで力を合わせる。

**破損を栄光に変える**

日本の伝統的な技法である「金継ぎ」は、漆と金で陶磁器を修理するもので、傷を隠したり捨てたりするのではなく、傷を歴史の一部として受け入れる。 破損箇所を特定し、貴重な金で繊細に補修することで、破損と壮麗さが融合したユニークな作品が生まれ、その価値と美しさを高めている。

国際関係の領域では、不公平や不公正が対立や戦争へとエスカレートし、尊敬や配慮の欠如が家族を分断することがある。陶芸家が割れた角度を見極めるように対話を行い、愛、理解、寛容、思いやりをもって傷に対処することで、人間関係を修復し、平和を勝ち取ることができる。

傷の栄光への転換は、不完全さがもはや欠点を示すのではなく、むしろ成長と回復力を象徴するという転換を意味する。金を取り入れることで、壊れやすさの中にある美しさを際立たせ、その価値と意義を高めている。

ピース・サンデーでは、ペーパーツリーを使った象徴的な行為が行われ、各自が困難な時にサポートを求める 「陶芸家 」を特定した。これにより、参加者の間に愛と優しさの文化が育まれた。

世界的な紛争や分裂、不正義が存在するにもかかわらず、父なる神の手による陶芸家の役割を体現し、美と全体性を高めるために亀裂を埋める金のように、愛と思いやりをもって他者に接することで、平和と癒しに向かう道が残されている。

個々人は、より調和のとれた、相互につながった世界に貢献することができる。世界的に紛争、分裂、不正義が存在するにもかかわらず、父なる神の御手による陶芸家の役割を体現し、愛と羅針盤をもって他者に接することで、平和と癒しに向かう道は残されている。

親愛なる天の父よ、

あなたの優しいタッチを通して、私たちはあなたの尊い癒しを経験することができます。私たちの欠点は、特別な栄誉をもって扱われます。

父なる神様、どうか私たちが人々の傷に敏感になれるようにしてください。あなたの恵みと賜物を通して、あなたの愛、共感、思いやりを体現することができますように。私たちは喜んで他者の必要を満たします。私たちが傷ついた心を受け入れ、癒しを受け、傷を通してあなたの栄光を現す勇気を与えてください。

父なる神様、ありがとうございます。あなたはエホバ・ラファです。あなたの癒しが私たちに一致と平和をもたらしてくださいます。

イエスの御名によって祈ります。アーメン。

-ウィンシー・ワン：　平和委員会のメンバー。香港のメノナイト教会の牧師。

神の手の中の粘土

金継ぎとは、割れた陶器から創作や再創造を行うことで、私は主に遣わされて陶工の家に行ったエレミヤに思いを馳せた。

エレミヤはその家に着くと、「作っていた粘土の物が手に悪い形になるたびに、もう一度粘土を作り直し、好きな種類の別の物を作っていた 」ことに気づいた。 神のメッセージはこうだった。「イスラエルの家よ、この陶器師がしたように、わたしもあなたがたにすることができないのか、と主は言われる。確かに、陶器師の手にある粘土のように、イスラエルの家よ、あなたがたもわたしの手にある」。(エレミヤ18:4,6 NAB) エレミヤへの主のメッセージは、神は、時には人間の態度に従って、神が望むことを何でもなさるということだ。 残念ながら、私たちは頑なであるがゆえに、しばしば役割を逆転させ、自分自身を神、神を粘土と考えてしまう。

イザヤ29:15-17を読めば、それがよくわかる。 「あなたがたの不品行は、陶器師が土になったようなものだ： 造られたものが、造り主に向かって、『彼は私を造ったのではない』と言うようなものだ。造られたものが、造り主に向かって、『彼は私を造らなかった！』と言うように、あるいは、器が陶器師に向かって、「彼は分かっていない 」と言うように。

使徒パウロもこの考えを共有している。「陶器師は粘土を支配する権利を持っていて、同じ塊から、ある器は崇高な目的のために、別の器は無価値な目的のために作ることができるのではないだろうか。神は、ご自分の怒りを示し、その力を知らしめたいと願って、滅びのために造られた怒りの器を、多くの忍耐をもって耐え忍ばれたとしたら、どうでしょう」（ローマ9:21-22）。(ローマ9:21-22）。

私たちは人生の方向性を主に委ねよう。

祈り

主よ、あなたの御名をあがめるために、私のうちにあなたのものでないものを壊し、あなたの望まれるとおりに私を造り直してください！

-カリ・トラオレ：　平和委員会のメンバー。ブルキナファソのメノナイト教会の牧師。

祈りの課題

* ミャンマーの兄弟姉妹とともに、彼らが内戦で経験した損失と現在も続くトラウマを悼みます。トラウマに打ちひしがれています。戦争と暴力にさらされたすべての人々のために涙します。慰めと力の御霊に包まれるよう祈ります。教会員が周囲の人々にとって光とキリストの平和の道しるべとなることができますように。メノナイト教会のために祈ります。軍国主義社会の中で戦争反対を唱える韓国のメノナイト教会のために祈ります。勇気と創造性のために祈ります。
* 韓国メノナイト教会のために祈ります、 そして、戦争反対を唱えます。「フロンティアーズ」とともに、済州島の軍事基地を変えることを目的とした平和活動に従事する彼らの働きのために祈ります。済州島の軍事基地を世界平和大学に変えることを目的とした平和活動に従事する「ザ・フロンティアーズ」の活動を祈ります。
* コロンビアの農村で、生活と命の危険にさらされている農民のために祈ります。彼らが安全に土地に戻ることができますように。コロンビアの社会の隅々にまで根を下ろそうと奮闘し続ける和平プロセスのために祈ります。忍耐と非暴力が勝利しますように。メノナイト・ブレザレン教会 「ラ・サマリターナ 」の人々のために祈ります。彼らが聖霊の注ぎを受け、勇気と愛をもって行動し、暴力を正義に変えることができますように、 聖霊の注ぎを受けることができますように。
* 気候危機の深刻化について、神に恐怖を告白します。その結果、悲惨な天候は食糧生産に支障をきたし 暴力の状況を生み出しています。教会がキリストの御霊によって 教会がキリストの霊によって力を与えられ、混乱の時代に平和の道しるべとなることができますように。私たちが簡素さと寛大さを持って生きることができますように。私たちが 創造主に希望を置き、すべての被造物とのシャロームを求める呼びかけに従うことができますように。